

sponsored by
タウンワーク
TOWNWORK



キャンパスライフ プラスワン

学生の夢を応援する「Campus Life+1」 追跡! Dreamerたちの



今年で5回目を迎える学生の夢応援プロジェクトCampus Life+1。これまで何万人もの学生が自身の夢について真剣に考えてくれました。今回は、過去にCampus Life+1に参加したことで、自分の夢がどのように変わったのか? また自分自身どのように成長したのか?を追跡取材してきました。



愛知学院大学
文学部4年生
浅野聡太さん | 22歳
愛知県出身。
9歳の頃、祖母がきっかけで和太鼓に出会い、以来和太鼓一筋。夢への資金と子どもたちの笑顔のため、児童のデイサービスでバイトをしている。

「世界一の和太鼓奏者になる」その夢へのターニングポイントとなったのが、キャンパスライフ+1コンテストでした。私は2015年に出場し、準グランプリをいただくことができました。その副賞としていただいたのが、アメリカ旅行。約2週間、ロサンゼルスやアリゾナを旅してきました。ここでの出会いや経験が、私の和太鼓人生を大きく変えるものとなりました。旅の中で、現地で活躍する和太鼓プレーヤーのもとを訪ねる機会がありました。私が刺激を受けたのは、彼らの姿勢でした。彼らは、日本に住んでいないからこそ、日本を感じる音とはどのようなものなのかを真剣に追求していたのです。そして、もう一つ大きな衝撃を受けたのが、音楽の

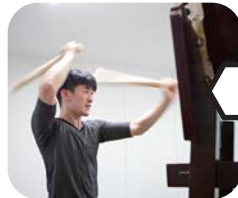
アメリカでの出会いが自分を成長 いつかは世界一のプロ和太鼓奏者に

持つ可能性でした。楽器の祭典を見学した際、そこで新しい楽器や楽器の幅広い演奏方法を見ることができたのと同時に、自分の視野の狭さを痛感させられました。それからというものが、今まで以上に和太鼓に対して向き合う時間が濃くなったと実感しています。そのほか、キャンパスライフ+1コンテストに出場したことで、自分の覚悟も固まり、昨年から日本のソロ和太鼓プレーヤーが集う「ZIPPANG」というチームに所属し、ソロ公演を行わせてもらいました。加えて、25歳以下の若手アーティストやクリエイターを援助するクリエイター奨学金制度の第1期生にも選ばれるなど、着実に夢へと近づいていると信じて、これからも自分の決めた道を進んでいきます。

浅野さんの
"夢Before⇔After"

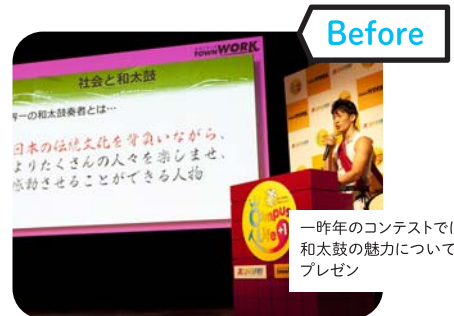
Before	After
20歳	22歳
1日3時間	1日3時間
0.1%未満	15%

以前と練習時間は変わらないが、質がかわったと話す浅野さん



After

アメリカ旅行中に和太鼓の演奏を披露。現地の人にも喜んでもらえた



一昨年のコンテストでは、和太鼓の魅力についてプレゼン

2017年
開催決定

【応募資格】●現在、大学(院)生、短大生、専門学校生、高校生、高等専門学校生、高等専修学校生の方(20歳未満の方は保護者同意の上ご応募ください) ●日本国内に在住している方。国籍は問いません。 ●団体での応募も歓迎(最終選考出場は1チーム5人までとする) ●2017年12月に東京にて開催予定の最終選考に参加いただける方※詳細は一次選考合格の方へご連絡の際にお知らせいたします。 ●過去に「Campus Life+1」にご応募いただいた方の応募も可能です。

右下のURL、2次元バーコードからサイトにアクセスし、必要項目をご記入ください。



エンタク 検索 <http://entac.jp/>

応募期間: 2017年4月3日(月)~2017年10月29日(日)

主催: **ENTAC!**
enjoy talking campus

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

RECRUIT